

平成 30 年度 第 2 回横浜市勤労者福祉共済運営審議会会議録

《日 時》 平成 31 年 3 月 22 日(金) 10 時 00 分～11 時 00 分

《開催場所》 横浜市技能文化会館 5 階特別会議室

《出席者》 柴橋会長、石田副会長、石原委員、大澤委員、沢田委員、花本委員、磯上委員、窪田委員、木場委員、齋藤委員、鈴木委員、中村委員、中山委員、福田委員

《欠席者》 無し

《開催形態》 公開(傍聴者 0 人)

《議 題》 (1) 役員等の選出

ア 会長及び副会長の選出

イ 会議録確認者の選出

(2) 平成 31 年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)について

(3) その他

《決定事項》 (1) 会長に柴橋委員、副会長に石田委員が選出された。

(2) 会議録確認は、中山委員が行う。

(3) 平成 31 年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)について、議案どおり了承された。

《議 事》

【開 会】

(事務局) 定刻になりましたので、ただ今から、平成 30 年度第 2 回「横浜市勤労者福祉共済運営審議会」を開催いたします。

【市民経済労働部長挨拶】

【出席委員挨拶】

【出席委員数報告】

(事務局) 次に、本日御出席いただいております委員数を報告いたします。現時点で、14 名の委員のうち、14 名の委員に御出席いただいております。したがって、横浜市勤労者福祉共済条例第 16 条第 2 項に規定されている半数以上の定足数を満たしており、本審議会が有効に成立しておりますことを御報告申し上げます。

また、本会議の傍聴者はありません。

併せて、前回「平成 30 年度第 1 回横浜市勤労者福祉共済運営審議会」の会議録について、

齋藤委員に御確認いただいておりますことを御報告申し上げます。

【議 事】

(事務局) それでは、これより議事に入らせていただきますが、先ほど申し上げたとおり、本日は第 25 期の審議会の初めての会合でございますので、「議事（１）役員等の選出」のうち、「ア 会長及び副会長の選出」については、事務局のほうで進めさせていただきます。後ほど、進行は新会長にお願いしたいと思います。

それでは、議事（１）アの「会長及び副会長の選出」を行わせていただきます。

本審議会の会長、副会長につきましては、横浜市勤労者福祉共済条例第 15 条に規定されており、「会長は、審議会を代表し、会務を総理する。（第 3 項）」、「副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、または会長が欠けたときは、その職務を代理する。（第 4 項）」となっております。また選出にあたりましては、「委員の互選によって定める。（第 2 項）」とあります。では、皆さま、会長、副会長の選出につきまして、いかがでしょうか。

(委員) 前期に引き続き、柴橋委員を会長に、石田委員を副会長という案はいかがでしょうか。

(事務局) それでは前期に引き続き、会長は柴橋委員に、副会長は石田委員に、それぞれお願いいたしたいと存じますが、いかがでしょうか。

(各委員) 異議なし。

(事務局) それでは、第 25 期の会長は、柴橋委員に、副会長は、石田委員にお願いしたいと存じます。

それでは、ここでお二人から一言ずつご挨拶をお願いいたします。

【会長挨拶】

【副会長挨拶】

(事務局) ありがとうございます。それでは、ここから後の議事の進行は、柴橋会長にお願いいたします。柴橋会長、よろしくお願いいたします。

(会長) それでは、ここからは私が議事を進めさせていただきます。

まず議事(1)イ、本日の審議会の「会議録確認者の選出」です。会議録の確認につきましては、「審議会運営要領第 6 条第 2 項」により、審議会があらかじめ確認者を指名して、確認を得ることができるものと規定されております。事務局から、これまで順次確認をお願いしてい

た旨、伺っておりますので、私から本日の審議会の会議録確認者の提案をさせていただいてよろしいでしょうか。

(各委員) 異議なし。

(会長) それでは、会議録確認者には、中山委員を指名いたしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(各委員) 異議なし

(会長) それでは、よろしく願いいたします。続きまして、議事(2)の「平成31年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)」について、事務局から説明願います。

(配付資料に基づき、平成31年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)について事務局から説明)

(会長) それでは、ただ今の議事(1)「平成31年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)について」、御意見、御質問などがございましたらお願いします。

(委員) 31年度の予算では掛金収入が増えており、加入促進費が増えていますが、会員数の目標はあるのでしょうか？また、その結果についてはお知らせいただけるのでしょうか？

(事務局) 会員数について単年度での目標は設定しておりませんが、(ベネフィット・ワンへの委託期間である)5年間で会員数が7万人以上となるよう努力してまいります。また、会員数につきましては審議会の都度、御報告いたします。

(委員) 加入促進も重要ですが、福祉事業のサービスが充実すれば結果として加入促進につながるということもあると思います。また、会員数が目標値を達成した際には達成記念として夢のある企画をしていただけると嬉しいです。

現状は会報誌を切り抜く形の補助券が多いが、社員から少し面倒という声があります。スマートフォンのアプリ等で画面を提示する等の方が便利かと思いますが？

(事務局) ご意見ありがとうございます。アプリにつきましては会員様のニーズや予算面を考慮しつつ、検討してまいります。

(会長) スマートフォンで会員証を提示する仕組みは出来ないでしょうか？

(事務局) 現在、ベネフィットステーションの会員証(ロゴマーク)についてはスマートフォンで提示することが可能となっております。なお、会員証自体や、提示にてお使いいただけるサービスについて、会報誌等により説明してまいります。

一方で、古くから御加入いただいている会員様の中にはスマートフォンをお持ちでない方もいらっしゃいます。そのため、ハマふれんど独自のサービスについては紙媒体で、ベネフィットステーションのサービスについてはWEBでと、双方向で提供してまいりました。ただ、(社会として)システム化が進んでおりますので、今後はどちらの利用方法でもご利用いただけるようなサービスの提供を目指していければと思っております。

(委員) 申し込んですぐに使えるサービスもあれば、申込みしてからリターンを待つ必要があるサービスもあります。サービスの利用方法が複数あり、利用方法が煩雑になっているように感じるのですが？

(事務局) サービスの利用方法につきましては、サービス内容に適した方法を取らせていただいています。例えば、映画の申込みなどは映画館からの要望もあり、お申込みいただいた後に座席を指定したデジタルチケットをお送りしています。

利用方法については毎号の会報誌に一覧を記載し、サービスごとにアイコンを振っておりますが、今後もより分かりやすいご案内を目指して工夫してまいります。

(委員) 加入者の事務手続きについて、現在は加入・脱退の書類が複写式の手書きになっています。掛金に係る部分ですので書面で提出する必要性は重々承知していますが、正副二枚を印字して提出する形には出来ないでしょうか？また、エクセルで作成する様式であると助かります。

サービスについてですが、ビュッフェの割引が非常に好評なので引き続きお願いしたいです。また、安くなくても良いのでプレミアム性のある、通常では入手しづらいチケット等を提供していただけると嬉しいです。

(委員) 社内での表彰制度等の特典として、社員にベネフィットステーションで使用可能なポイントを付与したいと思うのですが、一社でその仕組みを導入するとコストがかかるため、ハマふれんどとして加入事業所がその仕組みを利用できるようにしていただけないでしょうか？

(会長) それでは他に御意見、御質問がないようでしたら、「平成31年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)」について、御確認いただけたということによろしいでしょうか。

(各委員) 異議なし。

(会長) ありがとうございます。

それでは、最後に議事(3)その他について、ほかに委員の皆様から、御意見、御質問などございましたらお願いいたします。

会員の皆様の御意見を反映させる貴重な機会ですので、委員の皆様方、順に一言いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。ハマふれんど事業についての日頃の御感想や事業に関する御提案などお寄せいただければと思います。

(委員) 会員数が増加しており、嬉しく思っています。加入促進の専門員を配置されたことが関係しているかと思しますので、配置されたことによる効果や実績等を審議会でご報告いただきたいと思います。

(委員) 掛金収入の増加は会員数の増加によるものですので、加入促進については今後是非頑張ってくださいと思います。

サービスの提供方法ですが、ファミレスなどでもアプリでの割引と折込チラシでの割引等を併用していますので、ハマふれんどでも今後しばらくはアプリと紙媒体を併用してサービスを提供していくことがよろしいかと思います。

(委員) 審議会での意見がすぐに反映されるのを感じており、素晴らしいと思えます。私の職場では職員の年齢にかなり幅があり、20代から70代の方までいらっしゃいます。そのため、サービスの提供方法につきましては、やはりアプリと紙媒体の双方で提供していただけると嬉しいです。

(委員) 私は平日にサービスを利用するのが難しいのですが、休日のサービスが増えてきたため利用しやすくなりました。ありがとうございます。

(委員) (ハマふれんどについて) 働くことへのメリットを感じるサービスを目指したいと思っています。当社では短時間の勤務で社員と同じ福利厚生がある限定社員の制度を設けており、それにより子育て中の女性が多くなっています。(そういった方に対して) ハマふれんどのスケールを活かして、個人では予約や入手が難しいサービスを提供していただきたいと思えます。

(委員) 当社の社員は年齢層が高くなっており、切り取って持っていく補助券などは分かりやすく利用しやすいと評判ですので、継続してお願いしたいと思えます。

また、加入促進についてですが、横浜スタジアムの広告や市営地下鉄への広告等を継続する

ことにより、ハマふれんどの知名度を上げていただき、加入促進につなげていただければと思います。

(委員) スマートフォンがかなり普及しているため、アプリで簡単に利用できるシステムを作っていたらいいと思います。

(委員) 私は何期か継続して委員をしておりますが、委員になった当初に比べてサービス内容は良くなっており、審議会での提案も数多く反映していると感じています。私自身も参加したい魅力的なサービスもあります。

当社も年齢層に幅があるため、私もしばらくはアプリと紙媒体を併用していただきたいと思っています。また(利用しやすい)身近なサービスが提供されていれば、利用者からの口コミで評判は広まっていくかと思っています。加入事業者数は減少していますが、会員数が増加している現状について、私は評価したいと考えています。引き続きお願いします。

(委員) 私もホームページや審議会でおっしゃっていただいた意見が反映しており、非常に使いやすくなってきていると思います。

加入褒賞金についてですが、現在は5年、10年、15年ときて、20年やそれ以降はありません。ハマふれんどは2020年で50年目となるようですので、その点について一度ご検討いただければと思います。

(副会長) 少子高齢化が進んでいる現状ですが、当社では3人や4人の小さい子供がいる社員が多いです。そういった世帯では遠出があまり出来ないため、近場にある施設に何度か行って、その施設の年間パスポートを購入しているようです。そういった世帯に向けて、近場で何度か利用できるサービスを提供していただきたいと思っています。

(会長) たくさんの御意見を頂戴しまして、有意義な情報交換ができたと思います。他に御意見、御質問がないようでしたら、議事は全て終了とし、事務局に進行をお戻しいたします。

(事務局) 本日は貴重なお時間を頂きましてありがとうございました。次回の審議会につきましては、6月下旬に平成30年度の事業実績などを御審議いただく予定でございますのでよろしくお願い申し上げます。以上をもちまして本日の審議会を終了いたします。

≪ 資 料 ≫ 議事(2)「平成31年度横浜市勤労者福祉共済事業計画(案)」